

# 統合および独立行政法人化 問題意識調査

## 調査結果報告書

2001年10月

山梨大学教職員組合

統合および独立行政法人化  
問題意識調査アンケートWG

# 目 次

1 調査概要 .....	1
1.1 調査目的 .....	1
1.2 調査方法・回収状況 .....	1
1.3 調査内容の設計 .....	1
1.4 調査内容 .....	1
1.5 回答者の内訳 .....	2
2 調査結果 .....	3
2.1 統合問題について .....	3
2.2 独立行政法人化問題について .....	7
2.3 大学の将来展望について .....	11
3 自由記述 .....	13
3.1 統合問題について .....	13
3.2 独立行政法人化問題について .....	16
3.3 大学の将来展望について .....	17
4 調査結果の分析 .....	22
4.1 統合のメリットに対する受け止め方 .....	22
4.2 統合のデメリットに対する受け止め方 .....	22
4.3 統合による影響 .....	22
4.4 独立行政法人化問題 .....	22
4.5 独立行政法人化による山梨大学の影響 .....	22
4.6 大学の将来展望 .....	22
5 調査アンケート .....	24

# 1 調査概要

## 1.1 調査目的

山梨大学では、山梨医科大学との統合が推進されている。具体的には、統合協議会によって、管理運営体制検討分科会、重複組織検討分科会、教育検討分科会、独立研究科設置検討分科会などが設けられて議論が進んでいる。両学部教授会・全学説明会などで学長から統合についての説明はあるが、学内の意見の具体相が集約されているとは言えない。そこで、統合に対する学内の意見集約を本調査の第一の目的としている。

同時に、独立行政法人化に関わる内容に関しても学内の意見分布を調査することを第二の目的としている。

それらの意見の集約をもとにして、今後の山梨大学のあり方を考える資料とする。

## 1.2 調査方法・回収状況

調査方法：アンケート用紙を作成し、配布・回収

調査期間：平成 13 年 6 月 29 日～7 月 17 日

配布方法：手渡し及び郵送

回収方法：代議員による回収、郵送、組合 BOX への持参

配布数：600(山梨大学教職員のほぼ全員)

回収数：181

回収率：30.2%

## 1.3 調査内容の設計

調査アンケート内容の設計は、WG で計画し、執行委員会です承した。内容は、WG 及び執行委員会の会議を数回開くとともに、メーリングリストによる意見交換を行いながら確定した。

## 1.4 調査内容

調査内容は、次の 3 つの分野に分けている。

I.山梨医科大学との統合問題について

- ・ 統合のメリット
- ・ 統合のデメリット
- ・ 統合による影響
- ・ 統合に関する情報提供

II.独立行政法人化問題について

- ・ 独立行政法人通則法
- ・ 大学の影響

III.大学の将来展望について

## 1.5 回答者の内訳

有効回答の教職員区別と組合所属非所属

教職員区別	組合所属非所属			合計
	組合員	非組合員	無回答	
教員	71	39	10	120
	59.2%	32.5%	8.3%	100.0%
	72.4%	59.1%	58.8%	66.3%
職員	27	23	7	57
	47.4%	40.4%	12.3%	100.0%
	27.6%	34.8%	41.2%	31.5%
無回答	0	4	0	4
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	0.0%	6.1%	0.0%	2.2%
合計	98	66	17	181
	54.1%	36.5%	9.4%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

上段%:組合所属非所属別, 下段%:教員職員別

有効回答(教員)の年齢と所属学部

教員年齢	教員所属学部						合計
	教育人間科学部(大学)	教育人間科学部(附属校園)	工学部	その他	非該当	無回答	
20代	0	3	3	0		0	6
	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%		0.0%	100.0%
	0.0%	7.5%	5.6%	0.0%		0.0%	3.3%
30代	6	16	20	1		0	43
	14.0%	37.2%	46.5%	2.3%		0.0%	100.0%
	25.0%	40.0%	37.0%	100.0%		0.0%	23.8%
40代	11	13	8	0		0	32
	34.4%	40.6%	25.0%	0.0%		0.0%	100.0%
	45.8%	32.5%	14.8%	0.0%		0.0%	17.7%
50代以上	6	4	22	0		0	32
	18.8%	12.5%	68.8%	0.0%		0.0%	100.0%
	25.0%	10.0%	40.7%	0.0%		0.0%	17.7%
非該当					61		61
					100.0%		100.0%
					100.0%		33.7%
無回答	1	4	1	0		1	7
	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%		14.3%	100.0%
	4.2%	10.0%	1.9%	0.0%		100.0%	3.9%
合計	24	40	54	1	61	1	181
	13.3%	22.1%	29.8%	0.6%	33.7%	0.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

上段%:学部別, 下段%:年齢別

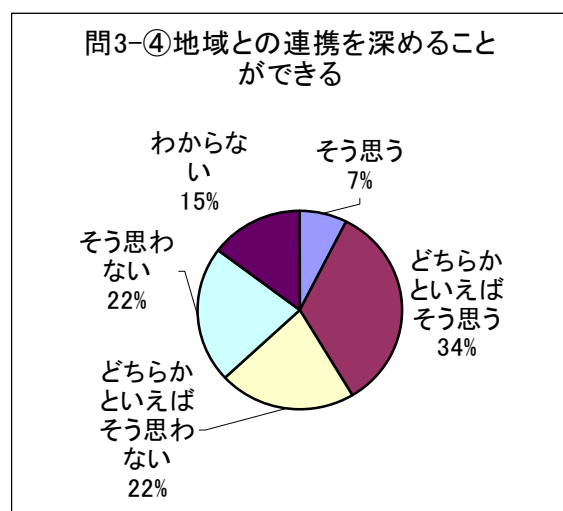
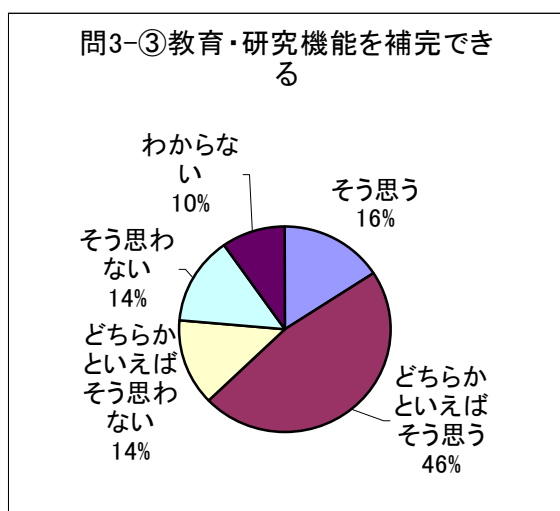
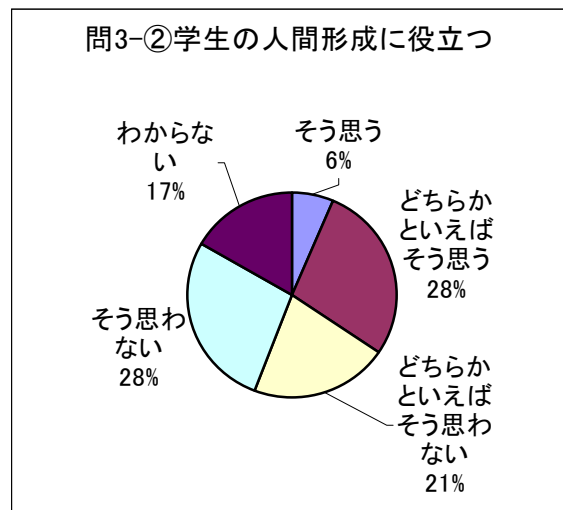
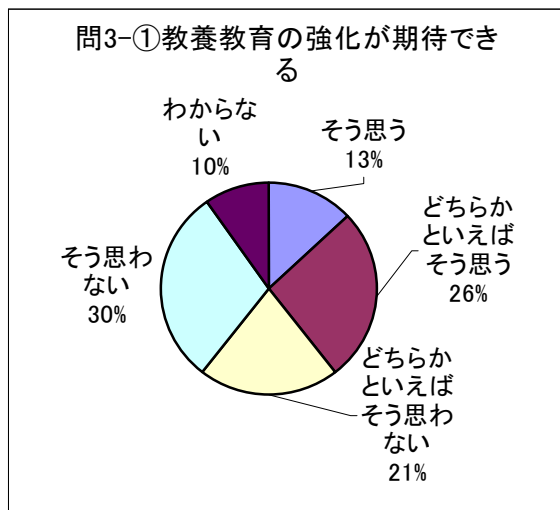
## 2 調査結果

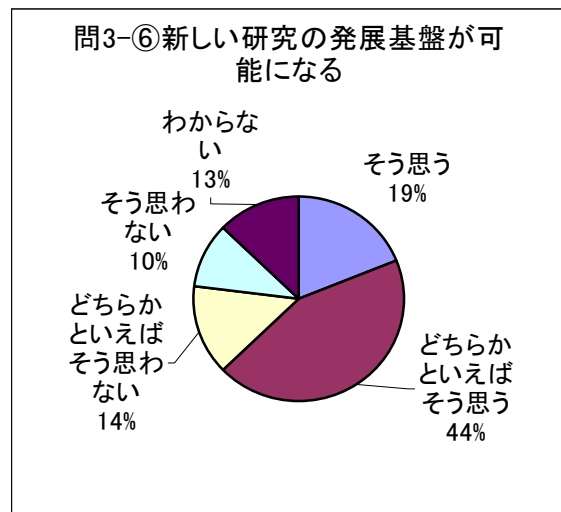
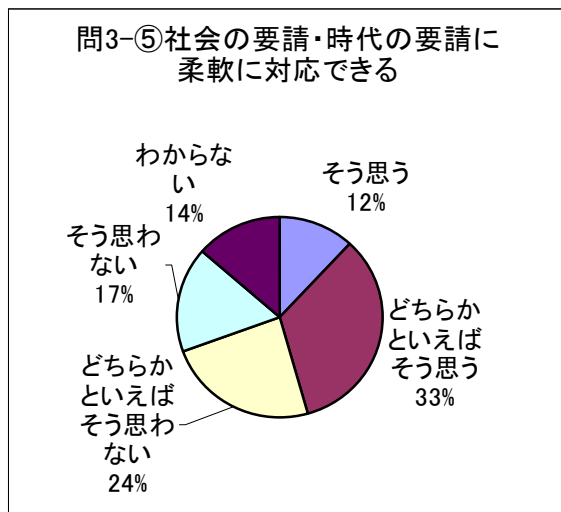
### 2.1 統合問題について

【問3】全学説明会で配布された資料に山梨医科大学との統合のメリットとして次の内容が挙げられていますが、どのように受けとめますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択（ 1 . そう思う      2 . どちらかといえばそう思う      3 . どちらかといえばそう思わない  
4 . そう思わない      5 . わからない ）

教養教育の強化が期待できる。	(	1	2	3	4	5	)
学生の人間形成に役立つ。	(	1	2	3	4	5	)
教育・研究機能を補完できる。	(	1	2	3	4	5	)
地域との連携を深めることができる。	(	1	2	3	4	5	)
社会の要請・時代の要請に柔軟に対応できる。	(	1	2	3	4	5	)
新しい研究の発展基盤が可能になる。	(	1	2	3	4	5	)

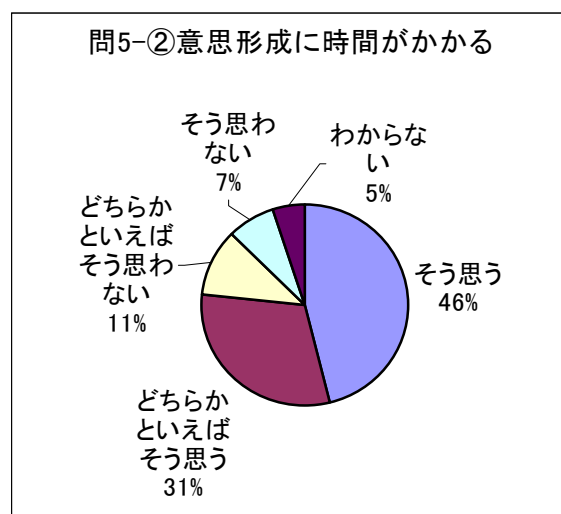
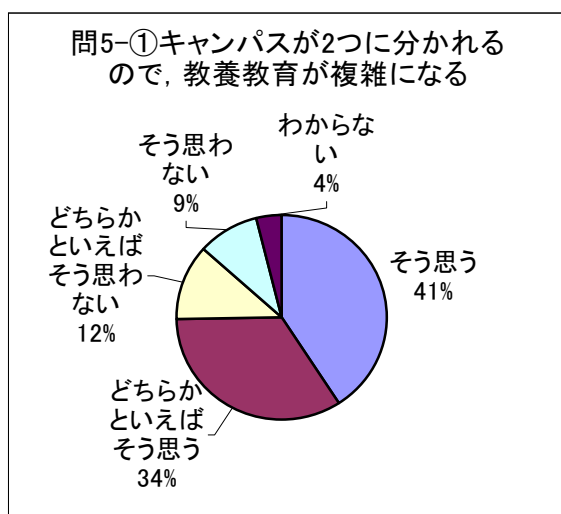




【問5】全学説明会で配布された資料に山梨医科大学との統合のデメリットとして次の内容が挙げられています。どのように受けとめますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

- 選択 ( 1 . そう思う      2 . どちらかといえばそう思う      3 . どちらかといえばそう思わない  
4 . そう思わない      5 . わからない )

キャンパスが2つに分かれるので、教養教育が複雑になる。 ( 1 2 3 4 5 )  
意思形成に時間がかかる。 ( 1 2 3 4 5 )

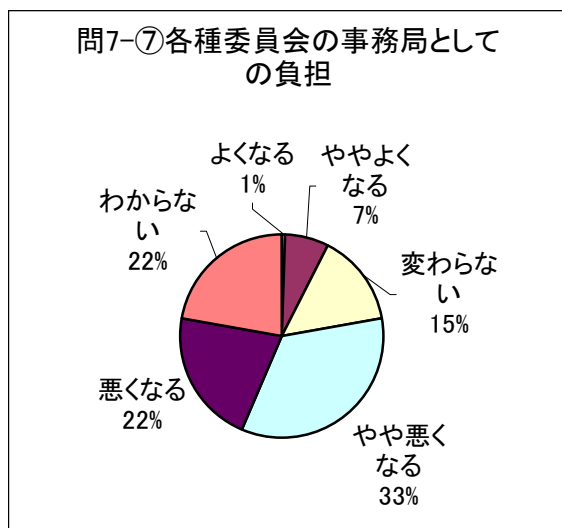
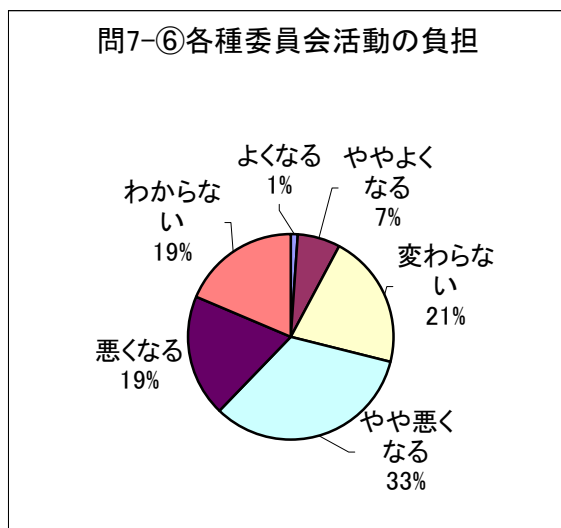
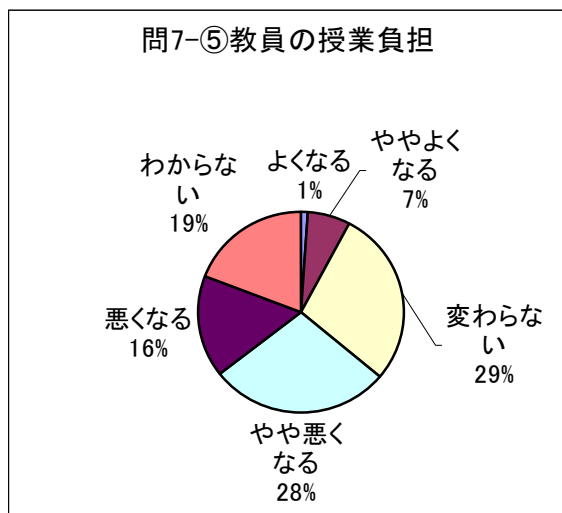
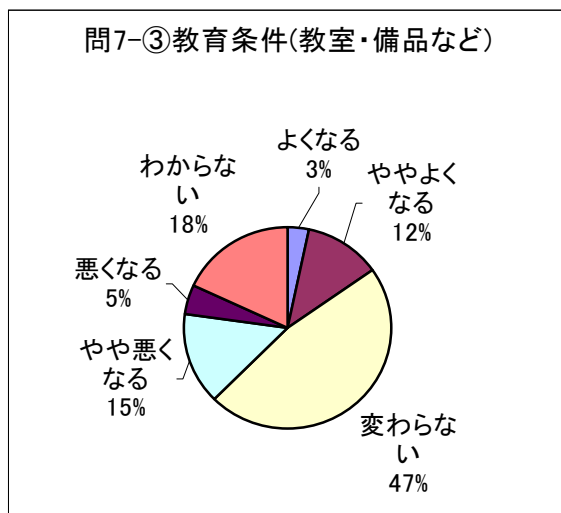
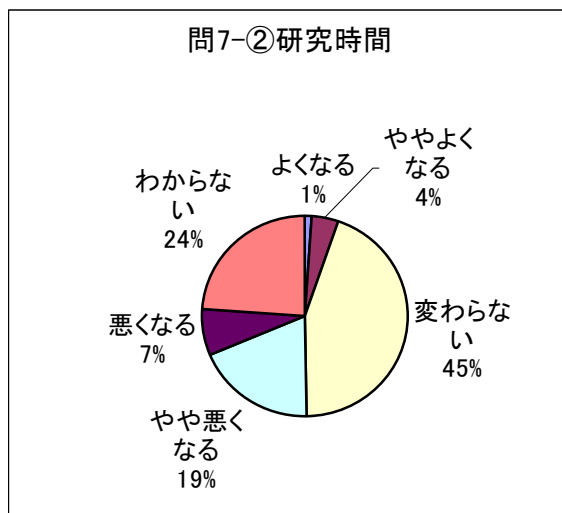
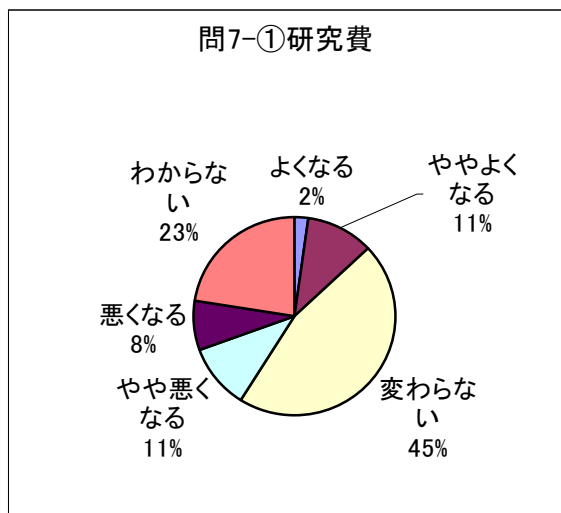


【問7】山梨医科大学との統合によって、どのような影響があると考えますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

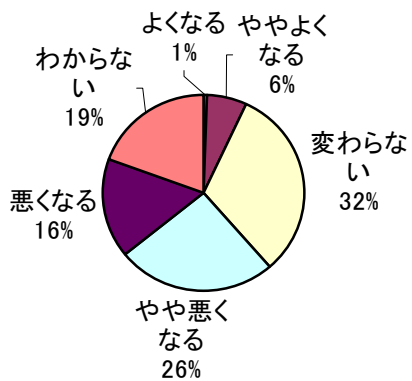
- 選択 ( 1 . よくなる      2 . ややよくなる      3 . 変わらない  
4 . やや悪くなる      5 . 悪くなる      6 . わからない )

研究費	(	1	2	3	4	5	6	)
研究時間	(	1	2	3	4	5	6	)
教育条件(教室・備品など)	(	1	2	3	4	5	6	)
教員の授業負担	(	1	2	3	4	5	6	)
各種委員会活動の負担	(	1	2	3	4	5	6	)
各種委員会の事務局としての負担	(	1	2	3	4	5	6	)

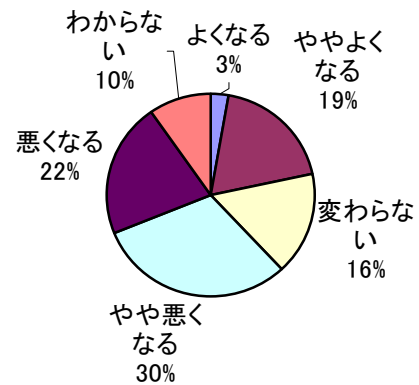
職員の勤務条件	(	1	2	3	4	5	6	)
事務の効率化	(	1	2	3	4	5	6	)
予算配分に関する意思決定の民主性	(	1	2	3	4	5	6	)
学生の大学生生活の利便性 (居住条件、大学施設の利用)	(	1	2	3	4	5	6	)
学生に提供する教養教育の質	(	1	2	3	4	5	6	)
学生に提供する専門教育の質	(	1	2	3	4	5	6	)



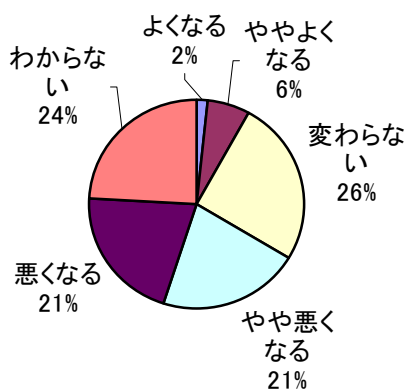
問7-⑧職員の勤務条件



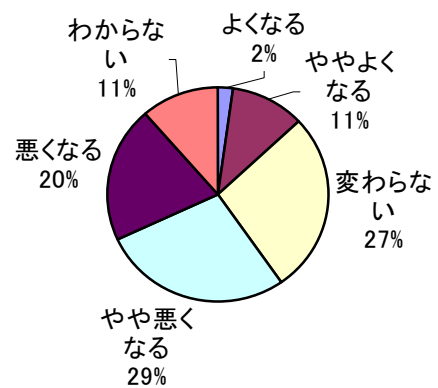
問7-⑨事務の効率化



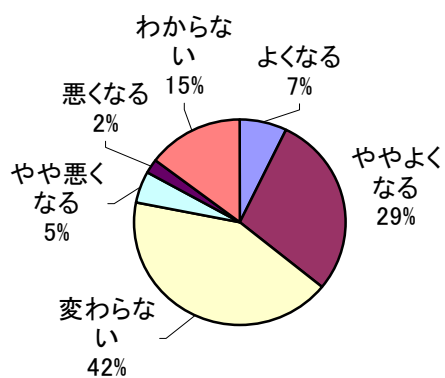
問7-⑩予算配分に関する意思決定の民主性



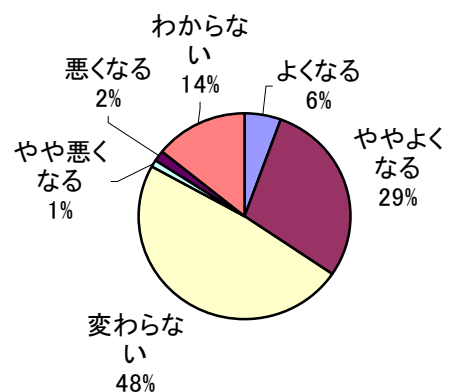
問7-⑪学生の大学生生活の利便性 (居住条件, 大学施設の利用)



問7-⑫学生に提供する教養教育の質



問7-⑬学生に提供する専門教育の質

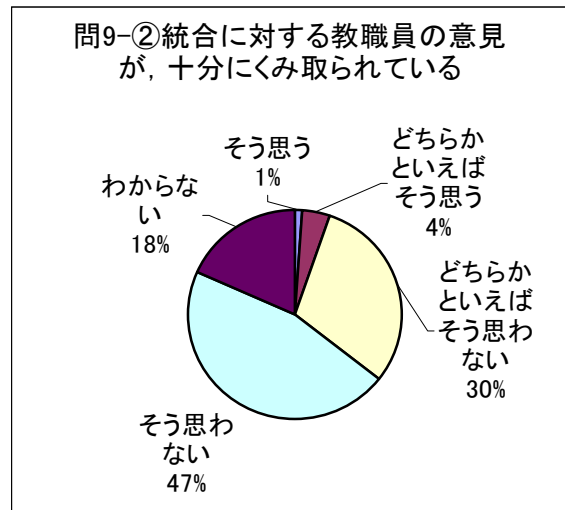
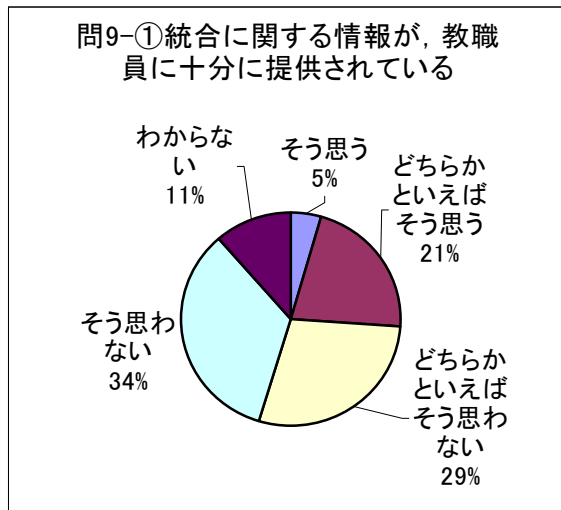




【問9】山梨医科大学との統合に関わる情報提供などについて、どのように思われますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号にをつけてください。

選択 ( 1 . そう思う      2 . どちらかといえばそう思う      3 . どちらかといえばそう思わない  
4 . そう思わない      5 . わからない )

統合に関する情報が、教職員に十分に提供されている。 ( 1    2    3    4    5 )  
 統合に対する教職員の意見が、十分にくみ取られている。 ( 1    2    3    4    5 )



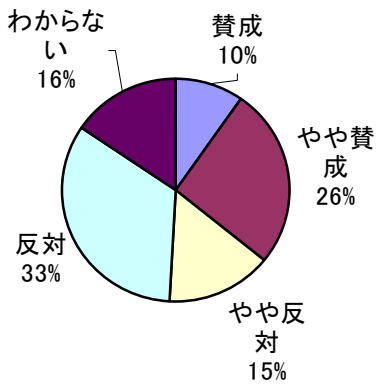
## 2.2 独立行政法人化問題について

【問11】独立行政法人通則法を大学に適用すると次のようなことになると考えられますが、どのように思われますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号にをつけてください。

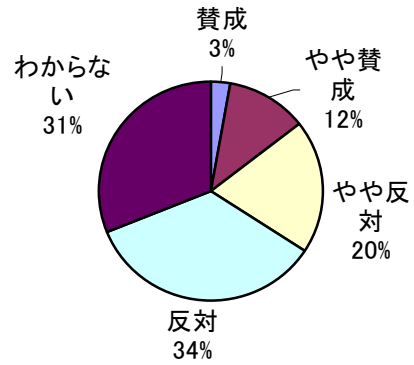
選択 ( 1 . 賛成      2 . やや賛成      3 . やや反対      4 . 反対      5 . わからない )

国立大学を行政の一機関ではなく、独立した法人とすること ( 1    2    3    4    5 )  
 主務大臣による中期目標 ( 3 ~ 5 年 ) の指示 ( 1    2    3    4    5 )  
 主務大臣による中期計画 ( 3 ~ 5 年 ) の認可 ( 1    2    3    4    5 )  
 目標や計画の達成度についての大臣の下に設けられた評価委員会による評価 ( 1    2    3    4    5 )  
 大学自身による学科等 ( 学部、研究科内の組織 ) の変更・改廃の自由 ( 1    2    3    4    5 )  
 大学自身による柔軟な教職員の配置 ( 1    2    3    4    5 )  
 大学自身による柔軟な給与決定 ( 1    2    3    4    5 )  
 費目を限定されない大学自身による柔軟な予算執行 ( 1    2    3    4    5 )  
 学長の権限強化とトップダウンの意思決定 ( 1    2    3    4    5 )

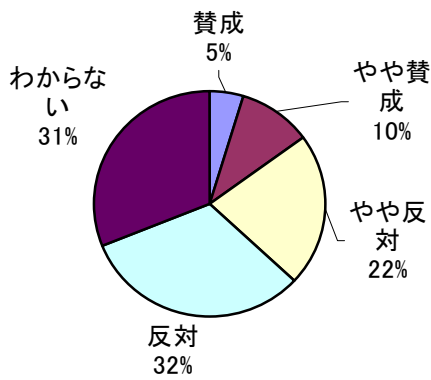
問11-①国立大学を行政の一機関ではなく、独立した法人とすること



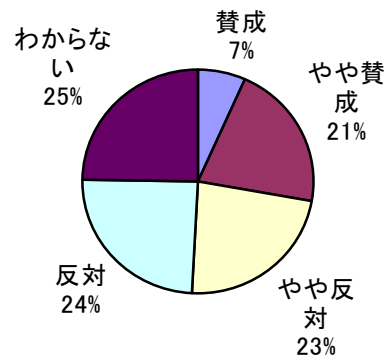
問11-②主務大臣による中期目標(3~5年)の指示



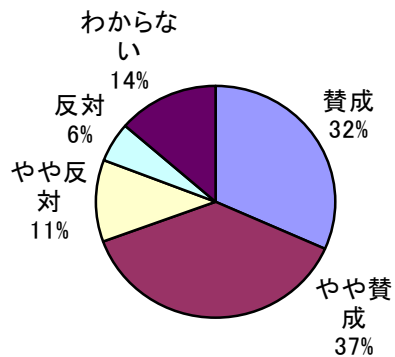
問11-③主務大臣による中期計画(3~5年)の認可



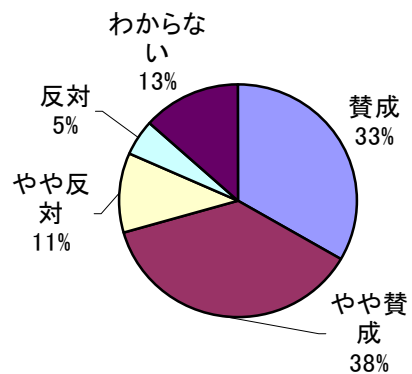
問11-④目標や計画の達成度について大臣の下に設けられた評価委員会による評価

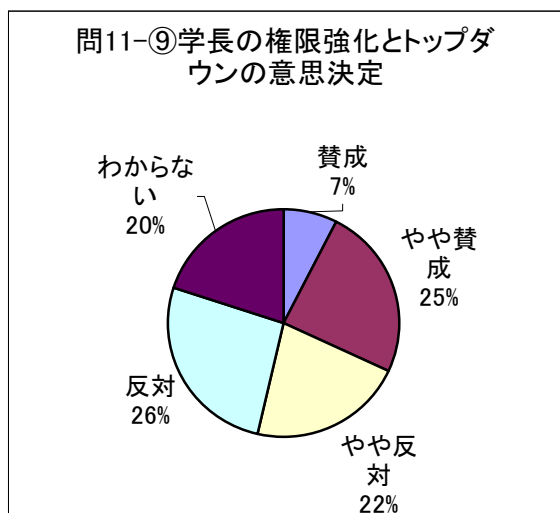
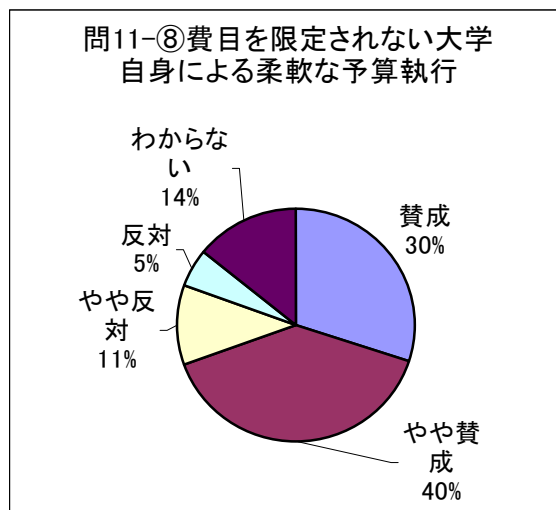
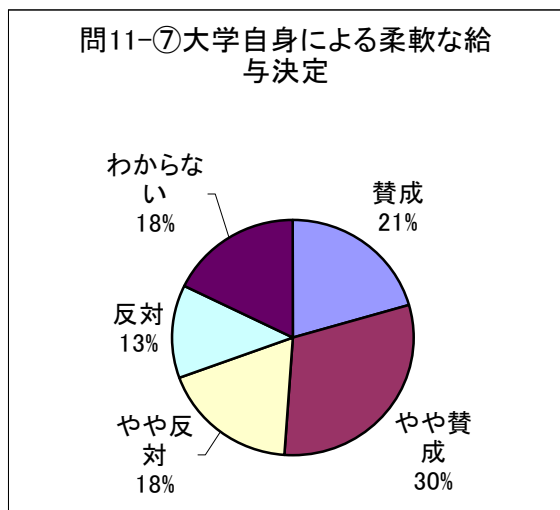


問11-⑤大学自身による学科等(学部, 研究科内の組織)の変更・改廃の自由



問11-⑥大学自身による柔軟な教職員の配置



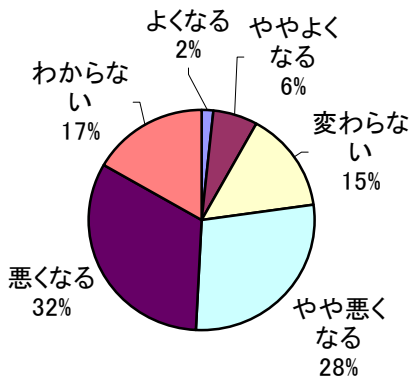


【問12】山梨大学が通則法に基づいて独立行政法人化された場合、どのような影響があると考えますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

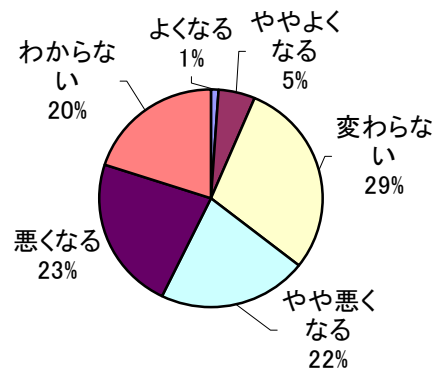
- 選択 ( 1 . よくなる                      2 . ややよくなる                      3 . 変わらない  
           4 . やや悪くなる                      5 . 悪くなる                              6 . わからない )

研究費	( 1	2	3	4	5	6 )
研究時間	( 1	2	3	4	5	6 )
教育条件 ( 教室・備品など )	( 1	2	3	4	5	6 )
事務の効率化	( 1	2	3	4	5	6 )
人事に関する意思決定の民主性	( 1	2	3	4	5	6 )
予算配分に関する意思決定の民主性	( 1	2	3	4	5	6 )
主務官庁からの独立性	( 1	2	3	4	5	6 )

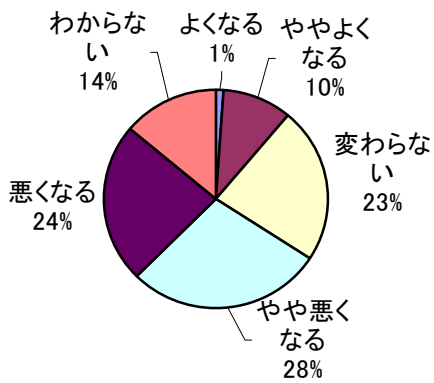
問12-①研究費



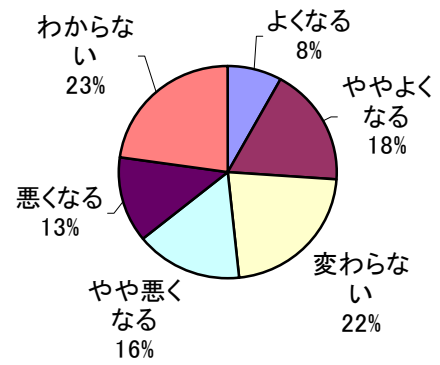
問12-②研究時間



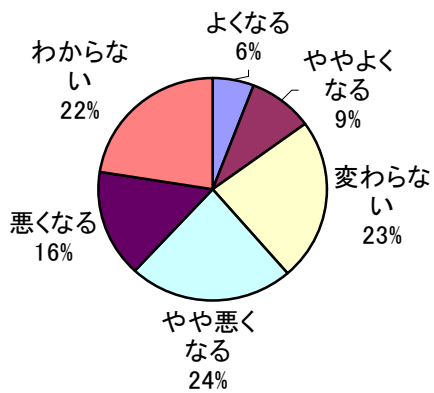
問12-③教育条件(教室・備品)など



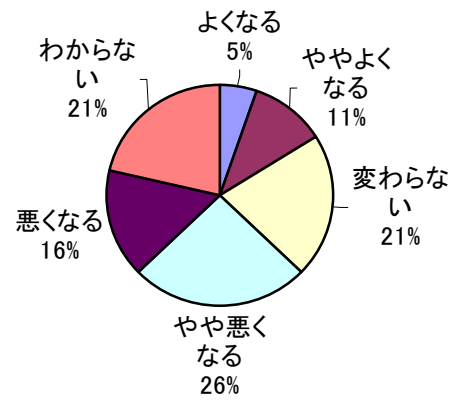
問12-④事務の効率化

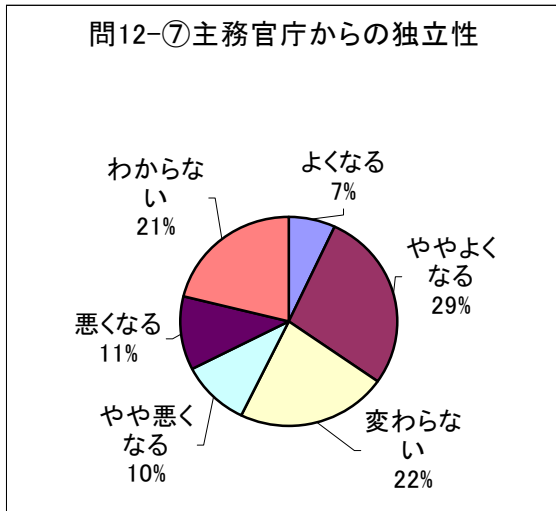


問12-⑤人事に関する意思決定の民主性



問12-⑥予算配分に関する意思決定の民主性



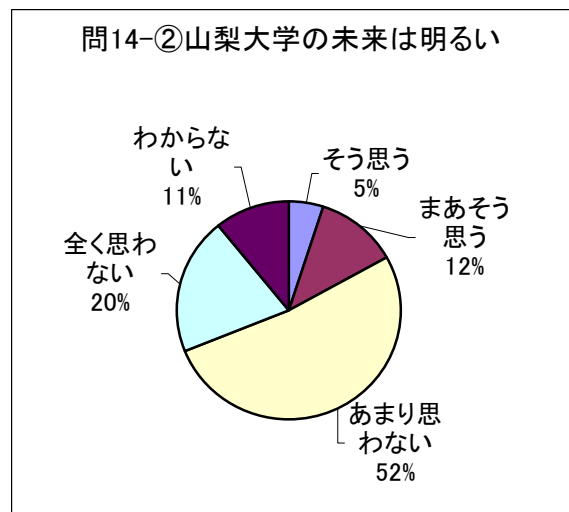
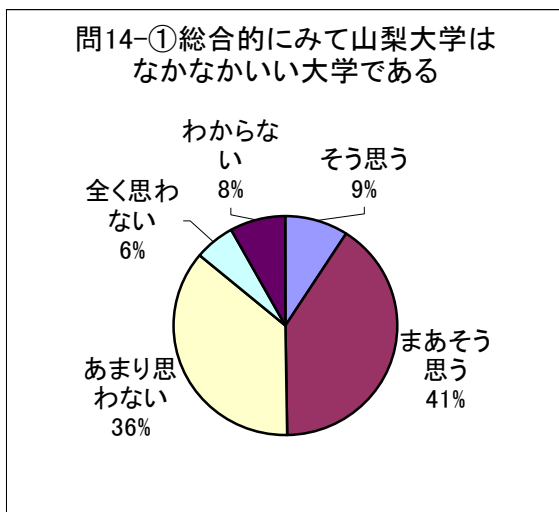


### 2.3 大学の将来展望について

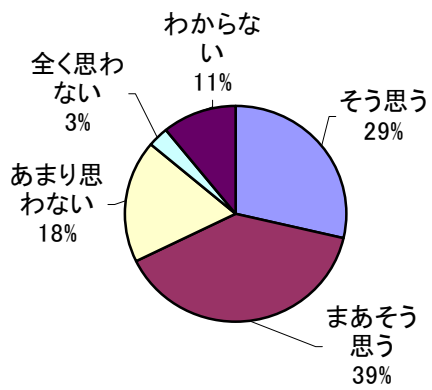
【問14】次のそれぞれについてどのように思われますか。なお、山梨大学とは、統合後の新生大学もさしめています。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号にをつけてください。

- 選択 ( 1 . そう思う                      2 . まあそう思う                      3 . あまり思わない  
           4 . 全く思わない                      5 . わからない )

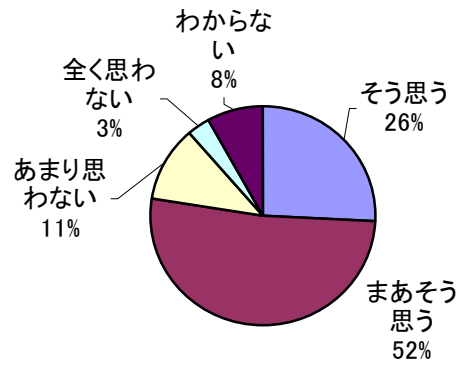
- 総合的にみて山梨大学はなかなかいい大学である。 ( 1 2 3 4 5 )  
 山梨大学の未来は明るい。 ( 1 2 3 4 5 )  
 私たちの努力によって、山梨大学はもっとよくなる。 ( 1 2 3 4 5 )  
 山梨大学のために、いろいろと努力したい。 ( 1 2 3 4 5 )  
 できれば、ずっと山梨大学で働いていたい。 ( 1 2 3 4 5 )  
 山梨大学は20年後も存在しているだろう。 ( 1 2 3 4 5 )



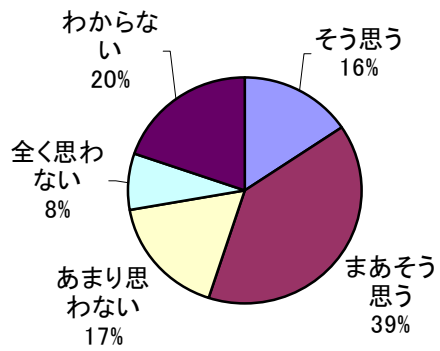
問14-③ 私たちの努力によって、山梨大学はもっとよくなる



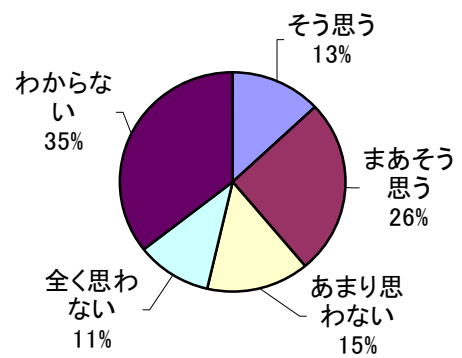
問14-④ 山梨大学のために、いろいろと努力したい



問14-⑤ できれば、ずっと山梨大学で働いていたい



問14-⑥ 山梨大学は20年後も存在しているだろう



### 3 自由記述

略号の意味

教：教員、職：職員

組：組合員、非：非組合員

教：教育人間科学部(大学)、附：附属校園、工：工学部、他：その他

20：20代 30：30代、40：40代、50：50代以上

#### 3.1 統合問題について

【問4】事務面におけるメリット、またその他のメリットについてどのようなことを期待していますか。自由に記述ください。

- ・むしろデメリットの方が多いのではないかと感じている。(教-組-教-30)
- ・メリットがあるとは思えない。(教-教)
- ・会計、庶務、その他、一元化でリストラ、定削が可能となるが、これは誰にとってのメリットであるかわからん。(教-組-教-50)
- ・事務局長の削減があるくらいで、実際の問題は、より複雑になる。特に教務関係は複雑さを増す。(教-組-教-40)
- ・非常に効率の悪い現在の事務処理をIT化等によって改善する契機である。しかし、ほとんど改善されない可能性も大きい。(教-組-教-40)
- ・単に組織の合理化が促進され、経費節約に繋がるだけで、あまりメリットはないように思われる。(教-非-教-40)
- ・山梨医科大学の設立を考えた時に何を今更という感が強い。当然、山梨医科大学は山梨大学医学部であった筈で如何に国(文部省：文部科学省)の物の考え方がいい加減であったか以外の何物でもない。メリットというよりも総合的にみて当然の成り行きと考えられる。(教-教-50)
- ・キャンパスが分割されることから、事務の煩雑化が予想されるが、むしろこれを機会に簡素化、合理化が進むことを期待したい。(教-非-教-30)
- ・ムダな人員が削減できる。(教-組-附-30)
- ・事務免のメリットはあまり期待できないように感じている。(教-組-附-30)
- ・デメリットのみ。(職-組)
- ・メリットは皆無と考える。(職-組-他-50)
- ・重複分野が集約化され、他の新たな分野に携われる人材(ポスト)を生み出せるので大変有意義である。(職)
- ・事務面は基本的にデメリットのみだと思う。唯一のメリットは、両大学の現在の欠点を見直し、優れた事務機構を再構築できる機会を得られたということだと思う。しかし、結果としては期待薄だと思う。(職-非)
- ・関連的に事務が進められれば、時間、労力の短縮になると思うのですが。(職-組)
- ・事務簡素化による人員削減。(職-非)
- ・定形的な業務に関しては、集中化、一元化することで、これから開拓し、力を入れていかなければならない分野について充実すること。(職-非)
- ・期待していない。(職-非)
- ・定削が可！意識改革ができる。(職-非)
- ・互いの人的、知的資源を活用し、それぞれの事務機能を補完できる。(職-非)
- ・教育研究面で発展できる。(職-組)
- ・事務職ではないので事務面のメリットについては考えにくい。メリットとしては新しい分野の知識が考えられる。(職-組)
- ・事務手続きの簡素化およびオンライン化。(教-組-工-30)
- ・経費の節約。(教-組-工-50)
- ・メリットがあるとは思えない。(教-組-工-50)
- ・事務官とパートの事務補佐員の仕事を区別し、事務官としての職務を果たせない人を排除する。(教-非-工-30)
- ・これを「きっかけ」として合理化、効率化を図ってほしい。(教-非-工-30)
- ・スケールアップのメリットは少しはあるかもしれないが、現状の体制の単なる統合では、大きなメリットは期待できない。(教-非-工-50)
- ・効率的な事務体制を確立するために一から見直しができる点。(職-非)
- ・何も期待できない。複雑になるだけで、重複が増え何もメリットなし。(教-組-工-40)
- ・経費縮減以外のメリットはないのではないかと。(教-組-工-40)
- ・一元化されるのは、分かりやすくよいと思う。(教-非-工-40)
- ・窓口の一元化、迅速な事務処理を期待(LANの整備と電子化を進める)。(教-組-工-50)
- ・統合の口火を切ったことで、山梨大学が生き残る可能性ができたことが最大のメリットだと思う。(教-組-工-50)
- ・キャンパスが違うからメリットは期待しにくい。適材適所を実行して、統合に当たり変更、

- 組織改革を行わないとメリットは出ない。(教-組-工-50)
- 特になし。(職-非)
- 同じ部局、課、係が統合されるので、人員を新しいあるいは他部局へ回すことができる。(教-組-工-40)
- おそらく定期便が出ると思うが、事務局が分かれることで生じるデメリットのほうが現段階では気になっている。(職-組)

- 同一部局の人員削減。(教-非-工-30)
- あまりメリットは考えにくい。(教-組-工-50)
- 二ヶ所に分かれるのだから、デメリットのほうが大きいと思われるが、事務の効率化が計られるのであれば、その成果が教員の事務作業の軽減に反映されるようになるべきだと思う。(教-組-教-40)

**【問6】事務面におけるデメリット、また、その他のデメリットについてどのようなことが考えられますか。自由に記述ください。**

- 学生等に対する情報伝達の問題(遅くなる。伝わりにくいなど)(教-組-教-30)
- 人事交流、昇任の公平化が期待できる。(教-組-教-50)
- 教務上の意思伝達、手続きの複雑さ。(教-組-教-40)
- 教員の事務に費やす労力の増加と学生へのサービスの低下。(教-非-教-40)
- キャンパスの位置による事務部の配置がどのようになるかで、デメリットの大きさが出るのでは。(教-非-教-30)
- 事務の内容を知らない人が増える。(教-組-教-40)
- 授業時間の負担。各種委員会の煩雑さ。(教-組-教-40)
- 過去を引きずって意見の相違が生まれるのではないか。お互いに新しい大学を作ろうという意思があればよいが。(教-組-附-30)
- 会計の複雑化。(教-組-附-30)
- 連絡が不十分である。二重手間がかかる。決定に時間を要する。(職-組)
- 文書決裁に時間がかかる。回答書類集約に時間がかかる。(職-組-他-50)
- 統合することによって事務職員が集約化され、事務組織が充実するはずであるが、キャンパス間で事務職員の取り合いが始まれば、その効果がうすれる。要は、合理的配置となるか、損得勘定で妥協の配置となるのかで決まるものであり、統合によってデメリットはもともとないとする。(職)
- 別に事務面のために統合するわけではないのだから、全ての事象がデメリットだと思う。(職-非)
- 今まで、それぞれの事務の手順というものがあるので、統合によってどう変わるのか。デメリットというより不安がある。(職-組)
- キャンパス間の距離があるため、連絡等で時間が必要となる。(職-非)
- 両大学における考え方、やり方等が異なるため、二つの事務処理体制が併存し、非効率になること。(職-非)
- 梨大ルール、医大ルールというのがなんとなく

- あって、それぞれのキャンパスに異動したときには、使い分けなくてはならないことが当分の間続くのでは。(職-組)
- 事務量の増大。(職-非)
- 梨大での一般的な事務職員の意識は「吸収合併する」というものだが、この意識が(無意識にしろ)変わらなければ統合の際には医大側との反目が強まることになると思う。(職-非)
- 事務局が分散することにより、連絡、調整、協議等の面で影響が大きい。(職-非)
- リストラがかかりやすい。(職-組)
- 現状でも仕事量が多すぎて、心身ともにパンク状態なのに統合することになればさらに多くの仕事が...(職-組)
- 事務手続きに時間がかかる。(教-組-工-30)
- 負担が多くなる。(教-組-工-50)
- 複雑になる。(教-工-40)
- 事務が2つに割れて、はたして、スムーズに流れるのだろうか。疑問に思われる。(教-組-工-50)
- 不統一な規則や判断が起こる。(教-非-工-30)
- 会議の数が多くなることが予想される。学部間の調整に時間がかかる。(教-非-工-50)
- キャンパス分散による効率低下を危惧する。(教-組-工-30)
- 総務や会計、教務などが分かれてしまうと非常にやりにくくなると思う。(職-非)
- 事務員の多忙化。事務の各部課が異なるキャンパスにあることに起因するミス、不都合の発生。(教-組-工-40)
- 距離的に遠くなる部局における対応に、時間を要することになりそうな感じがする。(教-非-工-40)
- 繁雑な事務になるだろう。(教-組-工-50)
- 全く今と変化なしで定員削減のみが進行する。(教-組-工-50)
- 統合により事務の効率化といわれるが、現状でも人員が不足している事務職員の一層の削減につながり、労働密度が増えると思われる。医大と梨大で事務機構が分離されることになり、かえって事務は非効率になる。(教-組-工)
- 入試事務等が繁雑になる。(旧)山梨大学の独自



- 性をアピールしにくくなる。(職-非)
- キャンパスが2つに分かれていることは最大のデメリットである。同じ仕事を2つのキャンパスで行うことも必要となること。(教-組-工-40)
- 経理が近くにいないので、相談事があっても直接話すことができない。(職-組)

- 1つのことを決めるのに、両方に分かれるので決めるのに手間がかかる。(教-組-工-50)
- フタをあけてみないとわからないが、今までは電話で済まないことも1分歩けば済んだ。これが医学部キャンパスまでとなると…。(教-組-教-40)

**【問8】その他、統合による影響としてどのようなことが考えられますか。自由に記述ください。**

- 共同研究が推進されていることを教官として、大いに期待している。(教-非-教-30)
- 独法化に直結していくと思う。日本国国立大学 民営化第1号大学。(教-組-教-50)
- 細かいことですが、医学部学生の武田キャンパスへの通学方法。(教-非-教-40)
- 教育人間科学部の教員のみ、教養教育の負担が激増する。工学部、医学部の教員は、教養教育に無関心である。教養教育の全学部教官負担といいながら、現に工学部教官は数年に一度、それも複数で担当している。教育人間科学部の教員のみ、毎年一人で担当している。この現実を現教育人間科学部長(前職も)は、おかしいと思っていない。教育人間科学部は、工、医学部の教養教育のみが仕事ではない。(現と前教育人間科学部長は、教養教育の専門家なので、自分を正当化しすぎる。)教員養成という重要な専門教育があるのだから、教育人間科学部の教員も工、医学部の教員と同様に数年に一度の教養教育の担当にすべきである。このことは、組合としても真剣に考え、学長と学部長に問題として対応してもらいたい。(教-非-教-50)
- 一時的であるが、志気の高まり(教-組-教-30)
- 理系分野の優遇。(教-組-教-30)
- 教養、専門共に(質、量)向上を期待する。養護学校では、子どもの病気など専門的な相談やケアに期待する。(教-非-附-50)
- 基本的に何も変わらないと思います。(職-非)
- 各種組織の人の出入りが多くなり、風通しがよくなる。知り合いばかりの馴れ合いの職場環境が改善される。(職-非)
- 武田地区と玉穂地区二つが対立していくため、両者の連絡調整が必要になる。(職-非)
- 今、求められているのは統合ではなく、「改革」であって、統合のために「改革」が足踏みしているように見えてしょうがない。方向を見誤らないようにしてほしい。(職-組)
- 私たちが統合について大問題だと思っけていても、その件を知らずに入学する学生は多数いることと思います。住居等の件も含め、学生さんに対するケアをどうするかが、今後の大学経営で問題になることと思います。(職-非)
- の職員の勤務条件に関係すると思われるが、公共交通機関を利用して玉穂キャンパスへ通勤する場合、電車等の運行数が少ないため、遠方からの通勤者は大変。(職-非)
- 情報の交流が激しくなると思う。(職-組)
- キャンパスが離れていることによって、時間がとられてしまうこと。(教-組-工-30)
- 地域に対するポテンシャルが上がる。(教-組-工-50)
- 学生が、どのような観点から大学を選ぶかを考えてみますとあまり小さい所より、一応、医学部、工学部、教育人間科学部とある方が、引きつけるのではないかと思います。(教-工-40)
- 学生は、移動に時間がかかり、授業が取りづらい。(教-組-工-40)
- キャンパスが2カ所にあるということは、少なからず影響があるでしょう。教育の質は統合によって変化するというより、教官の問題だと思えます。(教-組-工-40)
- 医学部の独善的な考え方の押し付けによる物事の決定の遅れという悪影響。(教-組-工-40)
- 医大図書館の本の貸出を受け易くなることを大いに期待している。(教-非-工-40)
- 1+1が2にはならないと思う。大きくなるだけで決してよくなる。(教-組-工-50)
- 本来、統合の目的がはっきりせずに進んでいる。要するに行革のしわ寄せである。現場にとってメリットはない。でもやる以上はメリットを追求すべきである。事務、教育、研究について。(教-組-工-50)
- 独法化後、大学病院が赤字経営であれば、全学的にその支援をしなければならない。統合により、そのようなリスクを負うことになる。(教-組-工)
- これまでの既得権が、無視されるようなことが出てくるのが心配である。職員の学長選挙における推薦投票や教授の管理職一括指定の解除、あるいは、教職員組合への加入など。(教-組-工-40)
- 医学部による支配が起こるのではないかと(教-工-30)
- 意思決定が面倒になるでしょう。組織をいじりすぎると思う。(教-組-工-50)
- 教員全体の心理的環境が変わる。(教-組-教-40)

**【問10】その他、統合に関わる情報提供などについてどのように思われますか。自由に記述ください。**

- ・すでに統合が前提とされているように感じる。決定事項のみ伝えられ、意思が反映されていないように感じる。(教-組-教-30)
- ・文部科学省主導であるから、(学内からの内発的必要性によってでなく)情報不足はやむを得ない。(教-組-教-50)
- ・こまめに統合ニュースは発行されているが、具体的な内容開示に至っていない。(教-非-教-40)
- ・上層部のみの非民主的な手続きである。山梨総合大学という大学名はどこで決まったのか。(教-非-教-50)
- ・何故、大学の名前がそのような形でMediaに発表されるわけ?(教-組-教-40)
- ・まずまず努力していると思う。(教-組-教-30)
- ・大学名称などについても新聞報道によって知る。もっとNewsの中に学内に公開すべきである。教授会などで統合についての内容をもっと公開すべきである。(各分科会の具体的な話し合いの記録など)(教-組-教-40)
- ・我々職員の意思が統合に何らかの影響を与えられるのなら、情報提供は十分とはいえないと思うが、そのようなことがない以上、現状でいたしかたないとも思う。(職-非)
- ・リアルタイムで全職員に伝えることは無理。担当者が決定したことでなく、問題になっていることを伝えるべきかと思う。(職-非)
- ・問4の については、広く意見をきくと問題点がしぼられにくくなると思う。専門集団が集中的にポリシーをもって進めてほしい。(職-組)
- ・学長の新聞へのリークから今回の話が具体化したことを見てもわかるように、一部の人々の思惑で事態が動いているので、情報を教職員に広く提供するとともに教職員からもくみあげてほしい。(職-非)
- ・全学説明会の数を増やし、教職員の意見を聴取すべき。(職-非)
- ・十分な情報が流れてこない。大学名称ですら新聞の地方版を通して知るほどである。(教-組-工-30)
- ・会議の少数意見の公開も必要。(教-組-工-50)
- ・適当である。(教-組-工-50)
- ・まだ教職員の意識が低い。それは上の方の議論が下まで伝わってこないことにもあるのではないかと思う。(職-非)
- ・新聞報道が常に先で何も知らされていない。新聞発表で既成事実化して、反対させない雰囲気作りをしている。(教-組-工-40)
- ・統合するなら、信州大学と統合してほしい。(教-非-工-40)
- ・肝腎なことが伝わってこない。(教-組-工-50)
- ・具体的な方針が見えてこない。今後急に言われても現場はますます困る。(教-組-工-50)
- ・統合ニュースなど逐次提供されていると思う。時々新聞などが先により詳しく報道することがあつたりすると、職員には核心部分は知らされていないのかななどと思う。(職-非)
- ・これまでの全教職員会議における、学長の回答はすべての的を得ていない。質問にはキチンと答えるように要請してほしい。(教-組-工-40)
- ・特になし。(教-組-工-50)
- ・ホームページにもう少し具体的な内容を載せてもらいたい。(教-組-教-40)

### 3.2 独立行政法人化問題について

**【問13】その他にどのような影響があると考えられますか。自由に記述ください。**

- ・学生の授業料負担が増す。(教-組-教-50)
- ・予算面がどうなるかにより、教育条件等は変化してくる。(教-組-教-40)
- ・独法化によって、どんなふうに変わるのかイメージできない。(教-組-教-30)
- ・評価が平等であるか(他大学の)。(職-組)
- ・統合してみないとなんともいえません。(職-非)
- ・教職員の意識が変わる。すべての面での効率性重視の組織となる。(職-非)
- ・現状、明らかに年功序列の賃金制になっているが、それ以外の人事評価制が導入される。(職-非)
- ・国立大学という看板が実質的に外され、その存在価値が問われることになる。(職-非)
- ・収入が減る。不採算部門の切り捨て。(職-非)
- ・前向きに、元気よくやってみようと思います。(職-組)
- ・長期的な展望がなくなること。(教-組-工-30)
- ・基礎的な研究がしにくくなる。(教-組-工-50)
- ・今までの通りであれば良いと考える教官の意識改革が図れる。(教-工-40)
- ・よく分かりません。(職-非)
- ・文科省が金を出さず口を出すことになりそう。(教-非-工-40)
- ・じり貧をたどる恐れがある。(教-組-工-50)
- ・流行に流されない独創的な研究がやりにくくなる。(教-組-工-50)
- ・問12において、希望と現実が大きく異なるでしょう。現実が悪くなる方向に進む。(教-組-

工-50)

- ・ 効率化だけを目指す、これまでの学問の基礎となってきた部分(数学、芸術など)が切り捨

てられると感じている。感性の豊かな学生を教育するためには、このような学問も不可欠である。(教-組-工-40)

### 3.3 大学の将来展望について

【問15】以下の項目について自由に記述ください。

山梨大学で仕事をしていて、やりがいのあるとき、楽しいときはどんなときですか。

- ・ 講義、ゼミ等で学生と共に考えるとき。同僚と研究について語る時。(教-組-教-30)
- ・ 学生と研究活動に励んでいる時。(教-非-教-30)
- ・ 研究が前進したとき。学生が卒業後、幸福に楽しんでいるとき。(教-組-教-50)
- ・ 学生が目標を持って生きようとしてくれる時。(教-組-教-40)
- ・ 小さな規模なので、教員、事務員共に大学や社会について希望が共有しやすい。(組合には特に期待する)(教-組-教-40)
- ・ 授業において、学生の反応が活発な時。(教-非-教-40)
- ・ 小規模ながら充実している。(教-非-教-50)
- ・ 比較的素朴な学生への教育、指導。親切で愛想のよい生協があること。現職教員を含めて大学院生との充実したゼミ。おおむね理性的、合理的な運営のできる各種委員会への参加。(教-組-教-30)
- ・ 気持ちのいい学生に囲まれて教育、研究活動を精一杯やれること。(教-教-50)
- ・ 人との関わりで協力してできたとき。(教-組-教-40)
- ・ 研究がすすんでいるとき。(教-組-教-50)
- ・ 学生に対して教育を学生側が真剣に受けとめたとき。(教-組-教-30)
- ・ 学習意欲のある学生を教えている時。研究成果が挙げた時。(教-組-教-40)
- ・ 自分で考えた研究内容に取り組んでいるとき。(教-組-附-30)
- ・ いろいろな出会いのきっかけが多いこと。(非-附-30)
- ・ 自己研鑽の時間の保障はむずかしいが、他校ではなかなかできない大学教官とのつながりがもてること。(教-組-附-30)
- ・ 尊敬出来る友を得たとき。(職-組)
- ・ 個人的には全くない。と思ったが、ごくまれに役に立ったと感じた時(抽象的ですが)。(職-非)
- ・ 学生の生活や学習態度など、我家の子どもと接するのに役に立つ事もあり、自分自身も勉強になる。(職-組)
- ・ 教官と事務官の意思疎通が出来、スピードある仕事が出来たとき。(職-非)
- ・ 梨大の在り方、根幹に関わるような仕事に携わっているとき。(職-非)
- ・ 課題があまりにも多いと逆にやりがいを感じる。(職-組)
- ・ 特になし。(職-非)
- ・ 自分のしている、やるべき仕事を理解している人とともに仕事をしているとき。(職-非)
- ・ 行っている仕事が大学にとってプラスになったと感じたとき。(職-非)
- ・ 一つ一つの仕事が片付いていく時。(職-非)
- ・ 若い人と接してられる。(職-組)
- ・ 本人の技術力で研究室(教員、学生)等からの要望に充分答えられた時。加工法全般で新しいところみが行えた時。後輩に技術の継承が行えた時又、感じた時。(職-組)
- ・ ほとんどない。(教-非-工-50)
- ・ 学生と研究をしているとき。(教-組-工-50)
- ・ 研究論文が、学会誌に掲載されたとき。(教-組-工-50)
- ・ 学生にやる気があって、成果を一緒に出すことができたとき。(教-非-工-30)
- ・ 学生さんが感謝して卒業していったとき。卒業生が活躍の報告をしてくれたとき。(教-非-工-30)
- ・ 教育、研究の仕事に集中できる時。(教-非-工-50)
- ・ チームワークでの人間関係がスムーズの時。(職-組)
- ・ 研究・教育が妨げられずに、十分に行える状況にあるとき。(教-組-工-40)
- ・ のびのびしているところ。自由なところ。良い人が多い。(職-非)
- ・ 講義等で学生が内容をきちんと理解できたときは、教育に携わる一人としてやりがいを感じます。また、研究をしていて新たな発見をしたときは、やりがいと楽しさを感じます。しかし、これらは「山梨大学で...」と限定されるものではありません。(教-組-工-40)
- ・ 受け持った学生さんの卒業生としての成長が著しく、社会人として貢献している姿を見る時。それなりに研究が評価されたと感じる時。(教-非-工-40)
- ・ 教育や研究を通して、ここの学生と触れ合う機会があること。社会に対し自分の専門的立場から意見を述べる機会を得たとき。(教-非-工-40)

- ・ 最終的には自分の研究をしている時である。(教-非-工-50)
- ・ 新しい発見が出た時。(職-非)
- ・ 卒業生により努力の成果が認められ教育の効果を実感したとき。(教-組-工-50)
- ・ 自分の研究に没頭している時。学生にひらめき、勤勉さなどの長所を見出した時。(教-組-工-50)
- ・ 教育がうまく行き、学生との触れ合いが深まった時。研究がうまく進んだ時。(教-組-工-50)
- ・ 研究活動に集中できる時間がまとめてとれたとき。学生が興味をもって話を聞いてくれたとき。同僚から仕事に関して鋭い意見をもらったとき。(教-非-工-30)
- ・ 学生の教育に熱心に取り組まれている、人間的にも素晴らしい先生方のお仕事をお手伝い

#### 山梨大学で仕事をしていて、いやになるとき、やめたいと思うときはどんなときですか。

- ・ 多くの委員会等で忙殺されるとき。(教-組-教-30)
- ・ 各種委員会、様々な事務手続きに追われ、研究、教育の時間が少ない時。(教-非-教-30)
- ・ 授業以外の学生へのサービス(ゼミ、クラブ活動)などに対し、一切の勤務評価が行われていないことに気づく時。(教-非-教-30)
- ・ 学生の試験カンニングと代返。教員の昇任人事の妨害、いじめ。(教-組-教-50)
- ・ 「生き残りをかけて」と必死になろうとする気持ちが支配して、希望を語り合えない時。大学はもっと未来に対する希望を批判的視点を含めて語り合う所。(教-組-教-40)
- ・ とりあえず、現時点ではありません。(教-非-教-40)
- ・ 輸入候補の学長個人のスタンドプレーと業績づくりの計画が多すぎる。工、医学部の実学では、リベラルアーツの人間教育の意味がわかっていない。これでは、高等な専門学校になりえても、総合大学にはなりえない。(教-非-教-50)
- ・ ムラ社会、事実と違ったウワサを流すのが好き。(教-組-教-40)
- ・ だれに声をかけてよいのか戸惑う事務(とくに本部棟)。職員の配置のあり方。未だに分別回収が不十分なごみ問題(とくに紙類)。歩行喫煙する者が後を絶たないこと。運営能力の低い司会による会議に参加すること。(教-組-教-30)
- ・ 教官としてのモラルに欠ける教官の存在。研究もしない教官と同一レベルに見られていること。(教-教-50)
- ・ サボりたい人が勝手にサボって、平然としているのを見るとき。(教-組-教-50)
- ・ 持ち時間(講義)、委員会などで研究時間を取

- する時。研究に熱心に取り組む学生たちの姿を見、語り合う時。(職-非)
- ・ 知的にも技術的にも難しい仕事を創造性で作る事ができ、教育研究に貢献できたとき。もっと難しい仕事がしたい。(職-組)
- ・ 何かをやり遂げたとき。一年間指導した学生が巣立つとき。一つの研究を完成させたとき、研究しているとき。企画・立案しているとき。(教-組-工-40)
- ・ 聴講できること。(職-組)
- ・ 学生のためになれたなと思うとき。(教-非-工-30)
- ・ 学生と十分な議論ができるとき。(教-組-工-50)
- ・ 教育あるいは研究面で成果が出たとき。気の合う教職員との交流。(教-組-教-40)

- れないとき。(教-組-教-30)
- ・ 効率の悪い教授会、委員会に出席している時。教員が事務職をさせられる時(教-組-教-40)
- ・ 教育(学生の、小中高校の含めて)のことを考えていない者がかなりいることがわかる時。(教-組-教-40)
- ・ 今まで、あまりにもセクツ的なマイナス面を積み上げてきた事を目の前にする時。変わろうと(新しい方向に)という勇気が組織内に感じられない時。我欲にしばられた仕事ぶりを見せられるとき。(教-組-附-30)
- ・ 予算があまりにも少ない。(教-組-附-40)
- ・ 定員削減などを実際とてほしいへんなところ(一名減ることでもとても大きなダメージがある部署)へまわす不合理さ。(教-組-附-30)
- ・ 給与が低い。(教-非-附-40)
- ・ 予算がとりにくい。(非-附-30)
- ・ 公立に比べて給与の減。教育備品の不足。ほしいものでも買えないこと。設備の老朽化。(教-組-附-30)
- ・ 予算に制限がある。設備が不十分。給与が低い。(教-組-附-40)
- ・ 性格の悪い人と出会ったとき。(職-組)
- ・ 意思決定の民主化と称して全て教授会に計つてものを決めている。評議会制度が骨ぬきとなっており、無責任体勢である。平等論、公平論が先行し、悪平等が生じている。評議会及び各委員会の審議を尊重する意識が必要。(職)
- ・ 組織の一員として、自分の仕事に必要な情報を無意識、意識的に問わず与えられなかった時。(職-非)
- ・ 上司の頭のかたさ。(職-組)
- ・ 職員の業務への意識の低さを感じる時。業務外の拘束が多い。残業しているものがある中で、学内で酒類を口にする者がいるとき。(職-非)

- ・ 先入観とイメージのみが先行し、相互に評価して発展させていこうという考えがないと思うときは残念に感じる。(職-非)
  - ・ 事務職員であるので、人事について方針が示されていないことが気になる。(職-組)
  - ・ 大人気ない言動をとる人がのさばっている。(職-非)
  - ・ 責任の回避のしあいがひどいとき。(職-非)
  - ・ ガンバっても評価されないとき。(職-非)
  - ・ ある年数たって他を見たくなくなるとき。(職-組)
  - ・ やる気のない人間を目の当たりにしているとき(職場と全然関係ない事をしている)。仕事中にセクハラ行為と感じ取れる場合にあった時(ランニング姿でうろろしている、人の前でおならをする、げっぷをする等)。技術的な相談をしても、わからない、できないとすぐ投げ、逃げだしてしまう先輩。いやなことをすべて下の者に押し付けようとする。全体のバランスを考えず、自分だけ年休を消化している人がいる。(職-組)
  - ・ 仕事の分担の仕方が無計画で不平等であると感じるとき。理不尽な業務命令を受けたとき。(教-組-工-30)
  - ・ 議論して組み立ててきたものが、上部の意見、都合で瞬時で白紙になってしまうこと。(教-組-工-30)
  - ・ 正当な評価が得られない。(教-非-工-50)
  - ・ 研究費が少なすぎるのに成果が問われるとき。(教-組-工-50)
  - ・ 努力して、授業の用意をしても、学生に勉学の意欲が全く感じられない時。(教-工-40)
  - ・ いくら仕事をして、それなりの評価がない。(教-組-工-50)
  - ・ 雑用が多いとき。東京以外に出張に出るとき。(教-非-工-30)
  - ・ 学生や職階の低い者が権威でいじめられたとき。(教-非-工-30)
  - ・ 会議が重なり、実りある結論が得られないとき。(教-非-工-50)
  - ・ 権威ぶった人間が君臨し、物事が前向きに進展しない時。(職-組)
  - ・ 研究・教育とはあまり関係のないことで労力を費やし、その挙句に、その努力が何の価値をも生み出していないとき。(教-組-工-40)
  - ・ 法律で縛られている面がかなりあって臨機応変に対応できないところ。(職-非)
  - ・ 仕事が正に評価されていないと感じる時。
- 将来に希望が見出せない時。ホンネとタテマ工に振りまわされ、人間不信になっている。(教-組-工-40)
- ・ つくづく上司に恵まれないこと(教わる所を感じられないこと)。反面教師的なことが多い。しかし、やめたいとは思わない。(教-非-工-40)
  - ・ 「山梨大学はそのうちつぶれる」というような話を他の教職員としているとき(結構多い!)。(教-非-工-40)
  - ・ 企業と比較して、仕事の進め方がいわゆる「お役所」的であること。(教-工-40)
  - ・ 大学の発展について真剣に考えている人が少ない。決まったことをまもらず、勝手である。良いことはとりあげて、悪いことを正していく姿勢がないこと。物事を前向きに対処することができない大学である。(教-非-工-50)
  - ・ 余分な仕事が増えた時(仕事以外の)。(職-非)
  - ・ 悪平等な講座制と見識のない教官が多いと思うとき。(教-組-工-50)
  - ・ 声の大きい教授、学内政治だけが強い教授などに大学の運営が牛耳られているのを見る時。評議員、各種委員会委員長など大学、学部、学科の運営に責任のある立場の教授たちの頼りなさを見る時。(教-組-工-50)
  - ・ 雑用が多すぎる時。思いが通じない時。(教-組-工-50)
  - ・ 書類を大量に作成する必要があるとき。(教-非-工-30)
  - ・ 事務が非効率で時間がかかる、お役所仕事のなところにもふりまわされた時。予算が少なく、教育や研究等設備環境面で苦痛な時。エアコン等も満足に使えない。パソコンも一人一台ない。共有!!(職-非)
  - ・ 仕事をしない人間がいること。おまけに態度がでかい(常識のない態度)。給与をもらうとは、どんな仕事をすれば良いか。実力本位の給与になっていない。実力を適切に評価するシステムがない。(職-組)
  - ・ 事務仕事が多いとき。無駄に会議が長引くとき。(教-組-工-40)
  - ・ 身分差別。(職-組)
  - ・ 特にない。(教-非-工-30)
  - ・ 業績のみで考えていて、一人一人の人間を大事にしないこと。(教-組-工-50)
  - ・ 事務的作業、委員会活動が多く、しかも不平等に負担を強いられていると感じるとき。(教-組-教-40)

#### 山梨大学が存続、発展するためにどのようなことが必要だと考えますか。

- ・ 教授会をはじめ、教員各層の意思等をもっと大学の運営に反映させるようなシステムを確立すること。(教-組-教-30)
  - ・ 全教官が大学人として良識ある生き方とする。
- 例えば、大学から主たる給与をもらっているにもかかわらず、週に2～3日しか出勤しないでも構わないという異常な心理は、一般社会から見れば明らかにズレている。モラルの中で、社

- 会の範となるべき振る舞いをする。 (教-非-教-30)
- 政府の政策を教育、福祉重視に変えること。 (教-組-教-50)
  - 教職員全体で、日本の未来、世界の歩む方向、学問の役割、大学養育を語り合うこと。大学らしい知性の共同化を大学の雰囲気として作り出すこと。改革のエネルギーより、実践のエネルギーの方が生産的です。 (教-組-教-40)
  - 大学院を主体とした大学にすべきと考えます。 (教-非-教-40)
  - 教室ほか施設管理を改めて、きれいでさわやかな勉強環境をつくり出すこと。教育人間科学部のとくにL号教室あたりは悲惨である。年功序列のポスト決めを改めて、能力と責任をセットした外発型のインセンティブにもとづく教育、研究、社会的貢献をすすめること。たとえば、働かない教授を降格(助教授以下)すること。自分から申し出ることのできる教員人事制度に改めること。 (教-組-教-30)
  - 学生の授業評価や研究業績の出ない教官の首切り。親方日の丸にどっぷりつかった教官の排除。学生のモラルのup。施設等の充実を図ること。 (教-教-50)
  - 協力して大学をもりたてようとするシステム。 (教-組-教-50)
  - 教官、学生ともにもっとゆとりのある大学にし、他大学にない内容にする。大学のハード面にもっとデザインを入れるべき、現在はまったく暗いイメージ。 (教-組-教-30)
  - 文部科学省からの離脱。現行の入試制度の廃止、又は民営化。教授会、委員会の合理化。 (教-組-教-40)
  - 統一された思想が要ると思う(ドグマに至らない)。教育学には、人間学ならびに教授法といった真に現場での武器になる学問が必要。心理系の研究は、今から精神的退廃、環境問題悪化の時代に求められる分野だと思つので力を入れていただきたい。ただし、唯物的心理学では役に立たない。ホリスティック(全関連的)アプローチを取り入れて、経営思想を生かす。 (教-組-附-30)
  - 幅広い専門教育と質の高い教育者。 (教-非-附-50)
  - 学生あつての大学である。学生が、その将来が希望にみちたものとなるよう。もう少し就職あたりに力を入れ、活性化させるべきではないだろうか。 (教-組-附-30)
  - 他の大学(他県の大学)とさらに統合すべし。 (教-非-附-40)
  - 公立からの人事交流のため、身分の保障、給与の保障はお願いしたのですが。 (教-組-附-30)
  - 予算面の充実。 (教-組-附-40)
  - 自分の事だけ考えず、周りを見て連携を持っていくこと。 (職-組)
  - 代議員制を敷き、各委員会メンバーの選出をしっかりやり、審議を尊重すべし、委員会の機能を殺している。 (職)
  - 少なくとも事務面から言えば、ほぼ全員の係長クラスの人の改革の意識。下級職員が何を言ってもわかりません。 (職-非)
  - 山梨大学の持ち味のなものをもっと前面に出す必要があり、学生が入学しやすい様なシステム(たとえば、外国の様に入学はしやすく、卒業はむずかしい)に変えて行ってはどうかと思う。ペーパー試験だけでなく、一芸入学というものもどうでしょうか。 (職-組)
  - コスト削減によって浮いた費用を大学広報のために使用する。卒業生の進路について、もっと人員、費用をかける。 (職-非)
  - 目指す方向、理念を具体的にして、学内外に周知し、梨大にとって必要な改革を推し進め、真摯な態度で教育研究に突き進むこと。大学の運営にあたっては、教官、事務官が団結し、知恵と力を出すこと。教職員の志気を高め、総力を結集できるような体制をとること。 (人事面も含め)。 (職-非)
  - 大学が将来(中期)の構想を常に示していくこと。 (職-組)
  - 教職員の教育。 (職-非)
  - 自覚。 (職-非)
  - 教職員一人一人が、常に意識をもって、行動(仕事、教育研究)すること。 (職-非)
  - 全教職員の大学を発展させようとする意識の高揚。 (職-非)
  - みんなでがんばること。全力で国や世界のことを考える人を作ること。 (職-組)
  - 教職員の意識向上を望む。 (非)
  - アイデアなし。 (教-非-工-50)
  - 自由な学究的交流の場を多く持てるようにする。 (教-組-工-50)
  - 学生、教官の両方の継続的な質の向上の努力。 (教-工-40)
  - 卒業生の質をよくする。大学人の努力。世界的な研究。 (教-組-工-50)
  - 使えない教官、事務官を排除。 (教-非-工-30)
  - 速やかに改善していける仕組みを早く作ること。 (職-組)
  - 各自の自身の成果を根本にした、全体の改善・成長。「人格が人格を育てる」の実践。 (教-非-工-30)
  - 社会情勢は変化しても、研究、教育および地域社会への貢献の三原則を貫くこと。組織改革ばかりが表面に出過ぎている印象がある。 (教-非-工-50)
  - 教育研究の場として、研究に情熱を惜しみな

く注ぎ、学生との熱意あるコミュニケーションが常に保たれている事。(職-組)

- ・このアンケートでは山梨大学が現状のまままで存続可能であることを前提としているように感じられました。私はそうではないと感じています。統合するのは大学生生き残り策にすぎないのではないのでしょうか？そのため可能な範囲での新生大学の姿を模索しているのだと思います。入学志願者は年々減少し、2009年には全国大学・短大の入学定員と志願者数が同数となります。本学に於いても既に実質的には定員割れしているコースもあります。定員割れが新聞にのる前に処置しないと大学は存続できません。学生がなくなれば廃校です。県内の公立小中高を見れば明らかです。次は山梨大学です。大学統合は要するにリストラです。そんなに楽しいはずがありません。でもこのままでは未来がありません。いずれ、信州大か、静岡大へ吸収されてしまいます。(教-非-工-50)
- ・個人の都合を優先しないこと。既得権を主張しないこと。(教-組-工-40)
- ・過去にこだわらないフレキシビリティの増加。(教-組-工-30)
- ・職員の意識、やる気の強化(職員の研修制度の見直しなど)。学生を確保するための大学づくり。(職-非)
- ・教育よりも研究の業績が重視(教育業績をどのように評価すればいいのかわかりませんが)され、教官たちは個人の研究を最優先しているように感じます。もっと教育にエネルギーを注いでもいいと思うのですが…。それと、長期的目標を持った教育・研究も必要だと思います。地域に根ざした教育・研究をしてもいいと思います。地方大学として、山梨県にとってなくてはならない大学になるべきです。一般市民に向けて、PRをすべきです。近頃、新聞で学院大に関する記事を良く見ますが、山梨大学のもは少ないように感じます。活動や成果はあるのですから、それをもっと活用したほうがいいと思います。(教-組-工-40)
- ・入学してきた学生を大事にし、山梨大学で学んだことが良かったと感じて卒業してもらおうこと。卒業生の子供が入学してくれたらと希望している。(教-非-工-40)
- ・お互いに、本学が最下位(国立大学の中で)にあることを認識し、それから、よくなるための具体的な提案と行動をとる必要がある。(教-非-工-50)
- ・ここの努力が必要。(職-非)
- ・地域社会に貢献できるような規制緩和や制度

の改変が必要。自主的な改革により特長のある地方大学を目指す。(教-組-工-50)

- ・受験生の確保。(教-組-工-50)
- ・広い視野、大局的な観点を持つ指導者の育成が重要だと思う。主任、各種委員会委員長などに廻り持ちの人事をやめ、立候補者の中から選挙による投票によって、適材適所に人材を得たい。(教-組-工-50)
- ・地域に愛される大学になること。学生の身になって教育を考える。(教-組-工-50)
- ・山梨医科大学以外の大学とも合併、統合を行い、大学自体の規模を大きくすべき。優秀な人材を確保する努力を今後も継続すべき。(教-非-工-30)
- ・社会のニーズにこたえるべく改革(統合)をするということだが、文部科学省のニーズにこたえることに腐心しているのではないか。学問とは何か、山梨大学で行うべき教育・研究とは何かを、文部科学省から独立した視点から問い直す時期に来ている。(教-組-工)
- ・学生の教育に力を入れ、先生方が研究や学生の指導に充分時間を費やせるような環境を整えること。良い学生を育て社会に送り出すこと。そこに力を注ぐ。お役所的雑務を少なくすること。(職-非)
- ・実力を適切に評価するシステムと給与体系の確立。教官に望むこと：1. 高校の成績が悪くても、教育により社会的に優れた学生を世に出すという責任をもって教育にあたり、実績を出すこと。2. 高い教養と社会的に高い常識を身に付け全人格で教育にあたること。(職-組)
- ・学生がいての大学である。基礎的学問を守りつつ、時代の要請に答えていくこと。地域社会に開かれた大学づくりを目指すこと。学生の知的欲求を満たすことができること。広報活動によって大学の成果を社会に還元し、若い人たちに訴えていくこと。(教-組-工-40)
- ・柔軟な対応。(職-組)
- ・各自が各自の分担に努力・まい進すること。(教-非-工-30)
- ・人間のための教育と研究の意義をしっかりと考えること。教官、職員が、学生を大切にして、教育研究を行うこと。自己にきびしく考え、社会の中で大学として果たすべき役割を考えること。(教-組-工-50)
- ・教育のハード(設備)とソフト(教授方法の改善、カリキュラムの整合化)を大幅に改善し、真に学んだという充実感をともなって学生を送り出せること。(教-組-教-40)

## 4 調査結果の分析

### 4.1 統合のメリットに対する受け止め方

6割以上がメリットとして理解していたのは「教育・研究機能の補完」と「新しい研究の発展基盤の可能性」であり、他の項目は、メリットとして理解できる者とできない者の割合が拮抗している。「教養教育の教科への期待」はメリットと思わない者が過半数を超している。

### 4.2 統合のデメリットに対する受け止め方

「キャンパスが2つになることによる教養教育の複雑化」「意思形成に時間がかかること」の2項目ともデメリットとして理解している者が4分の3に達している。

メリット、デメリットとも、単純に考えたときにわかる問いに対しては、一方に回答が集中しているが、他の問いに対しては回答が二分した。

### 4.3 統合による影響

「変わらない」「わからない」という回答が多い。そうした中で、「よくなる」「ややよくなる」という回答（肯定意見）が多い（3割強）のは、「学生に提供する教育の質」（2項目）であった。「事務の効率化」も2割強が肯定していたが、逆に過半数が否定的にとらえてもいた。4割以上が否定的意見となった（「悪くなる」「やや悪くなる」）項目は、「教員の授業負担」「各種委員会活動の負担」「各種委員会事務局としての負担」「職員の勤務条件」といったコスト上の問題に関わる項目のほか、「予算配分に関する意思決定の民主性」「学生の大学生活の利便性」である。

全般的に見ると、学生への教育はよくなると考えている一方、統合によるコスト（仕事量・作業量）の増大に不安を抱いているようだ。

### 4.4 独立行政法人化問題

賛成が反対を大きく上回った項目は「大学自身による学科等の変更・改廃の自由」「大学自身による柔軟な教職員の配置」「費目を限定されない大学自身による柔軟な予算執行」であり、大学独自の判断ができるようになることには多数の者が賛成している。ただし「大学自身による柔軟な給与決定」については賛成が過半数ではあるが、賛否の差が上述の項目に比べると縮まっている。他の項目については、反対が賛成を上回っているが、とりわけ「主務大臣による中期目標の指示」「主務大臣による中期目標の認可」については、反対が過半数に達しており、賛成を大きく上回っているのが目立つ。

自由度が増すことについては圧倒的に支持的な意見が多い一方、主務大臣や学長などによるトップダウンの評価や研究・教育などの方向づけに対しては否定的な意見が多い。

### 4.5 独立行政法人化による山梨大学の影響

「主務官庁からの独立性」については「よくなる」の割合が「悪くなる」の割合を上回っており、「事務の効率化」は双方が拮抗しているが、それ以外の「研究費」「研究時間」「教育条件」「人事に関する意思決定の民主性」「予算配分に関する意思決定の民主性」については、「悪くなる」の割合が「よくなる」の割合を大きく上回っている。

全般に、独立行政法人化は山梨大学に対して悪影響をもたらすと考えている者が多い。

### 4.6 大学の将来展望

「総合的に見て山梨大学はなかなかいい大学である」は肯定的意見と否定的意見が二分した。また、「山梨大学の未来は明るい」に対して7割以上が否定的意見であるにもかかわらず、「私たちの努力によって山梨大学はもっとよくなる」「山梨大学のためにいろいろと努力したい」に対する肯定的意見も7割前後と非常に高い。「できればずっと山梨大学で働いていたい」に対する肯定的意見も過半数を超え、否定的意見を大きく上回っている。「山梨大学は20年後も存在しているだろう」については、肯定



的意見の方が多いが、わからないという意見も3分の1を超している。

一般論としては暗い将来展望をもっているが、一方で、自分の努力でなんとかできる、なんとかしようという考えている者がかなり多い。そういう意味では必ずしも将来展望が真っ暗とは言えないかもしれない。

## 5 調査アンケート

### 統合および独立行政法人化問題意識調査

山梨大学教職員組合  
2001年6月

現在、山梨大学では、山梨医科大学との統合が推進されています。両大学の統合協議会は、これまでに十数回開催され、管理運営体制検討分科会、重複組織検討分科会、教育検討分科会などが設けられて議論が進んでいます。両学部教授会・全学説明会等で学長から統合について説明はありましたが、学内の意見を集約できているとはいえません。

そこで、統合および独立行政法人化に関する問題を考える基礎資料を得るため、このアンケート調査を実施することにしました。お忙しいところ恐縮ですが、皆様の率直な意見を伺い、全体の意見交換を深めると共に今後の活動の参考にしたいと考えておりますので、なにとぞご協力をお願いいたします。なお、回答は番号に をつけるか、自由記述でお願いいたします。

・あなたご自身のことについてお尋ねします。

【問1】あなたは教員ですか、それとも職員ですか。また組合に所属されていますか。

種別： 1. 教員                      2. 職員  
組合員： 1. 組合員                2. 非組合員

【問2】教員の方のみにお尋ねします。所属学部と年齢をお教えてください。

学部： 1. 教育人間科学部(大学)    2. 教育人間科学部(附属校園)    3. 工学部    4. その他  
年齢： 1. 20代                      2. 30代                      3. 40代                      4. 50代以上

・統合問題についてお尋ねします。

【問3】全学説明会で配布された資料に山梨医科大学との統合のメリットとして次の内容が挙げられていますが、どのように受けとめますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択( 1. そう思う            2. どちらかといえばそう思う            3. どちらかといえばそう思わない  
          4. そう思わない    5. わからない )

教養教育の強化が期待できる。	(	1	2	3	4	5	)
学生の人間形成に役立つ。	(	1	2	3	4	5	)
教育・研究機能を補完できる。	(	1	2	3	4	5	)
地域との連携を深めることができる。	(	1	2	3	4	5	)
社会の要請・時代の要請に柔軟に対応できる。	(	1	2	3	4	5	)
新しい研究の発展基盤が可能になる。	(	1	2	3	4	5	)

【問4】事務面におけるメリット、またその他のメリットについてどのようなことを期待していますか。自由に記述ください。

【問5】全学説明会で配布された資料に山梨医科大学との統合のデメリットとして次の内容が挙げられています。どのように受けとめますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . そう思う      2 . どちらかといえばそう思う      3 . どちらかといえばそう思わない  
4 . そう思わない      5 . わからない )

キャンパスが2つに分かれるので、教養教育が複雑になる。 ( 1 2 3 4 5 )  
意思形成に時間がかかる。 ( 1 2 3 4 5 )

【問6】事務面におけるデメリット、また、その他のデメリットについてどのようなことが考えられますか。自由に記述ください。

【問7】山梨医科大学との統合によって、どのような影響があると考えますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . よくなる                      2 . ややよくなる                      3 . 変わらない  
4 . やや悪くなる                      5 . 悪くなる                      6 . わからない )

研究費	(	1	2	3	4	5	6	)
研究時間	(	1	2	3	4	5	6	)
教育条件(教室・備品など)	(	1	2	3	4	5	6	)
教員の授業負担	(	1	2	3	4	5	6	)
各種委員会活動の負担	(	1	2	3	4	5	6	)
各種委員会の事務局としての負担	(	1	2	3	4	5	6	)
職員の勤務条件	(	1	2	3	4	5	6	)
事務の効率化	(	1	2	3	4	5	6	)
予算配分に関する意思決定の民主性	(	1	2	3	4	5	6	)
学生の大学生活の利便性 (居住条件、大学施設の利用)	(	1	2	3	4	5	6	)
学生に提供する教養教育の質	(	1	2	3	4	5	6	)
学生に提供する専門教育の質	(	1	2	3	4	5	6	)

【問8】その他、統合による影響としてどのようなことが考えられますか。自由に記述ください。

【問9】山梨医科大学との統合に関わる情報提供などについて、どのように思われますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . そう思う      2 . どちらかといえばそう思う      3 . どちらかといえばそう思わない  
4 . そう思わない      5 . わからない )

統合に関する情報が、教職員に十分に提供されている。 ( 1    2    3    4    5 )  
統合に対する教職員の意見が、十分にくみ取られている。 ( 1    2    3    4    5 )

【問10】その他、統合に関わる情報提供などについてどのように思われますか。自由に記述ください。

・独立行政法人化問題についてお尋ねします。

【問11】独立行政法人通則法を大学に適用すると次のようなことになると考えられますが、どのように思われますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . 賛成      2 . やや賛成      3 . やや反対      4 . 反対      5 . わからない )

国立大学を行政の一機関ではなく、独立した法人とすること ( 1    2    3    4    5 )  
主務大臣による中期目標 ( 3 ~ 5 年 ) の指示 ( 1    2    3    4    5 )  
主務大臣による中期計画 ( 3 ~ 5 年 ) の認可 ( 1    2    3    4    5 )  
目標や計画の達成度についての大臣の下に設けられた評価委員会による評価 ( 1    2    3    4    5 )  
大学自身による学科等 ( 学部、研究科内の組織 ) の変更・改廃の自由 ( 1    2    3    4    5 )  
大学自身による柔軟な教職員の配置 ( 1    2    3    4    5 )  
大学自身による柔軟な給与決定 ( 1    2    3    4    5 )  
費目を限定されない大学自身による柔軟な予算執行 ( 1    2    3    4    5 )  
学長の権限強化とトップダウンの意思決定 ( 1    2    3    4    5 )

【問12】山梨大学が通則法に基づいて独立行政法人化された場合、どのような影響があると考えますか。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . よくなる                      2 . ややよくなる                      3 . 変わらない  
4 . やや悪くなる                      5 . 悪くなる                      6 . わからない )

研究費 ( 1    2    3    4    5    6 )  
研究時間 ( 1    2    3    4    5    6 )  
教育条件 ( 教室・備品など ) ( 1    2    3    4    5    6 )  
事務の効率化 ( 1    2    3    4    5    6 )  
人事に関する意思決定の民主性 ( 1    2    3    4    5    6 )  
予算配分に関する意思決定の民主性 ( 1    2    3    4    5    6 )  
主務官庁からの独立性 ( 1    2    3    4    5    6 )

【問13】その他にどのような影響があると考えられますか。自由に記述ください。

．大学の将来展望についてお尋ねします。

【問14】次のそれぞれについてどのように思われますか。なお、山梨大学とは、統合後の新生大学もさしています。もっともあてはまるものを1つだけ選んで番号に をつけてください。

選択 ( 1 . そう思う                      2 . まあそう思う                      3 . あまり思わない  
          4 . 全く思わない                      5 . わからない )

総合的にみて山梨大学はなかなかいい大学である。 ( 1 2 3 4 5 )

山梨大学の未来は明るい。 ( 1 2 3 4 5 )

私たちの努力によって、山梨大学はもっとよくなる。 ( 1 2 3 4 5 )

山梨大学のために、いろいろと努力したい。 ( 1 2 3 4 5 )

できれば、ずっと山梨大学で働いていたい。 ( 1 2 3 4 5 )

山梨大学は20年後も存在しているだろう。 ( 1 2 3 4 5 )

【問15】以下の項目について自由に記述ください。

山梨大学で仕事をしていて、やりがいのあるとき、楽しいときはどんなときですか。

山梨大学で仕事をしていて、いやになるとき、やめたいと思うときはどんなときですか。

山梨大学が存続、発展するためにどのようなことが必要だと考えますか。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。後日、集約して結果をご報告いたします。